

令和5年度 事業計画及び予算

【事業計画】

1 北海道未来人財応援事業

北海道未来人財応援基金を活用した助成事業については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況や国際動向を注視しつつ、留学生の安全確保を最優先に事業を進める。

※具体の海外留学の取り扱い等は、資料2-2「令和5年度北海道未来人財応援事業における海外留学の助成について」参照

(1) 募集・選考

【募集コース及び支援対象】

コース	対象者	支援対象
学生留学	道内大学等に在籍する学生（18～30歳）	本道の特徴や強みを活かせる農林水産業、食、ものづくり、観光、環境・エネルギーの分野での海外留学
スポーツ	道内在住の若者（18～39歳）	オリンピック・パラリンピックなど、世界の舞台で活躍できるアスリートの育成を目指す若手指導者の海外挑戦
文化芸術		美術・音楽・舞踊・演劇などでの国際的な活躍を目指す若手アーティストの海外挑戦
未来の匠		料理、製菓、木工、服飾、皮革製品など「つくる」で世界を目指す若手職人の海外挑戦

【事業規模】

- ① 予算規模 20,000千円（学生 11,000千円 3コース 9,000千円（各コース3,000千円））
- ② 助成人数 10名程度

【助成内容】

研修費 30万円上限（10分の10以内）、渡航費 10万円 or 20万円（定額）、滞在費 12万円 or 16万円（月定額）※渡航費及び滞在費は留学する国により助成額が異なる。

【募集・選考日程】

コース	募集期間	書面審査	面接1次	面接2次	最終決定
学生留学	4/3～5/8	5/15～5/19	5/29	6/16	6月下旬
スポーツ		—	5/25		
文化芸術		—	同上		
未来の匠		—	5/24		

(2) オリエンテーション、壮行会等の開催

助成決定者を対象に、海外留学に向けて必要な事項を説明するとともに、激励するための壮行会、海外留学で経験したこと、学び得た知識や技術などについて、関係者等に報告する場として帰国報告会などを開催する。また、令和6年度に向けた事業説明会などを開催する。

- ② オリエンテーション（令和5年7月上中旬）、壮行会（令和5年7月中下旬以降）
- ② 帰国報告会（令和6年1月以降）
- ③ 留学セミナー（時期未定）

(3) 広報活動

海外留学を通じて自らの資質向上を図り、北海道に貢献したい意欲を持つ若者の発掘や、北海道の若者の人材育成を支援する企業・団体等の輪を拡げるため、「みらチャレ通信」の発行や道ホームページやSNS等を活用した広報活動を実施する。

2 北海道未来人財応援基金の運営

ほっかいどう未成チャレンジ応援事業を継続していくため、本事業の趣旨を道内外の企業や個人の皆様にご理解いただき、訪問により寄附のご協力を依頼するほか、企業等との連携を図り、商品等の売上げの一部を寄附いただく取組など、本事業に必要な財源の確保に努める。

【予算】

3 令和5年度予算

(単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	内容
海外留学助成金	20,000	20,000	学生11,000、スポーツ、文化芸術、未来の匠 各3,000
機構行事関係費	346	—	
事業運営費	3,995	3,561	面接審査、壮行会、説明会、PR資材費等
基金積立金	4,512	8,021	寄附等による基金への積立金
計	28,853	31,582	